

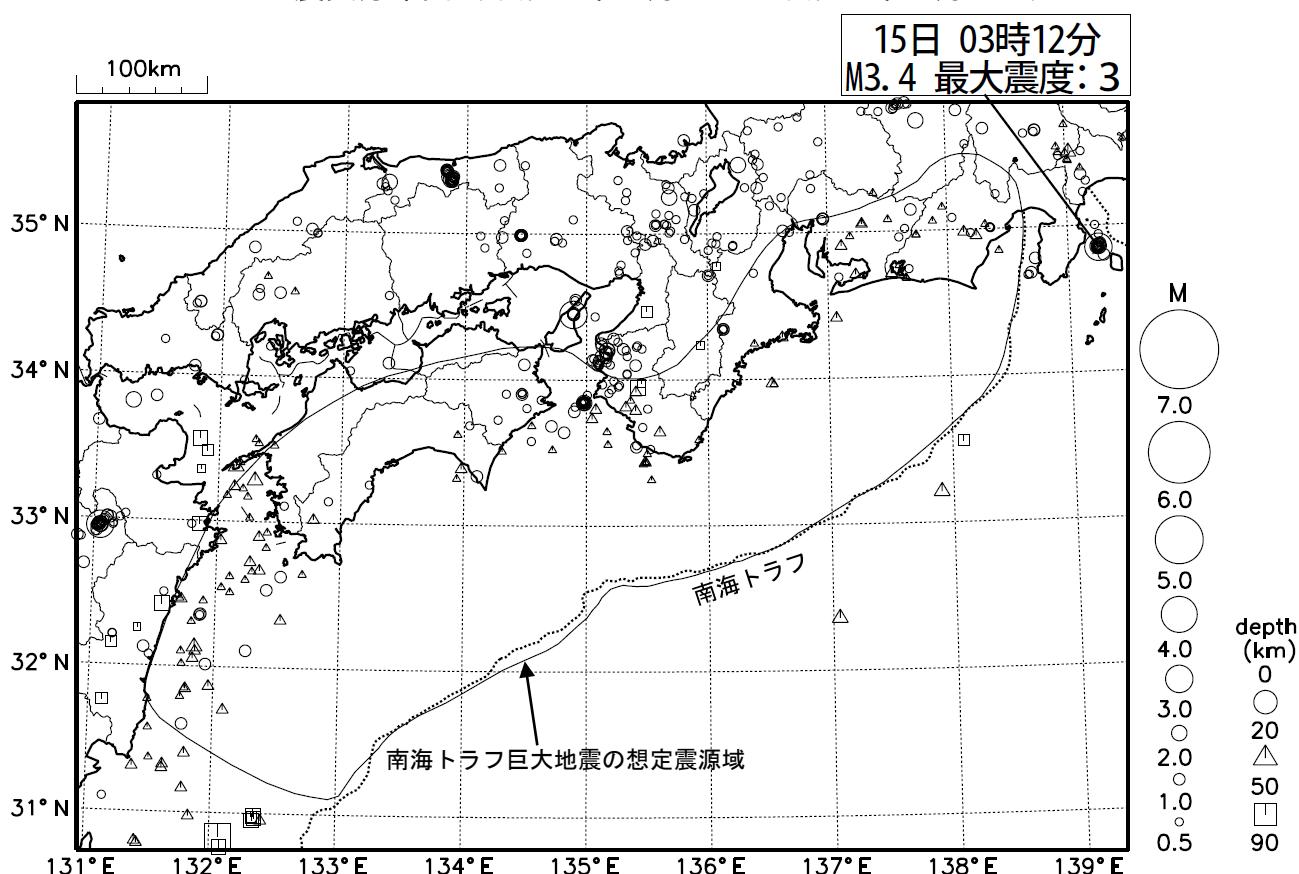
平成30年1月19日

気象庁地震火山部

南海トラフ周辺の週間地震活動概況 No. 3

*震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがある。

震央分布図（平成30年1月12日～平成30年1月18日）



“南海トラフ巨大地震の想定震源域で震度1以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震”及び“その他注目した地震”に「震源時、マグニチュード、最大震度」を付している ($M \geq 0.5$ 、震源の深さ0～90km)。

[概況]

特に目立った活動はなかった。

[主な地震活動]

・特に目立った活動はなかった。

[主な深部低周波地震（微動）活動^{※1}と地殻変動]

・特に目立った活動はなかった。

[その他の地域]

・15日03時12分に、伊豆大島近海の深さ11kmで、M3.4の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。この地震は、6日04時37分のM4.4の地震（最大震度3）及び同日05時47分のM4.5の地震（最大震度3）とほぼ同じ場所で発生した。

※1：上の震央分布図には、震源決定精度が高い地震の震央のみを表示している。このため、震源決定精度が高くない深部低周波地震（微動）の震央は表示していない。